

アンケート調査結果の考察

資料4

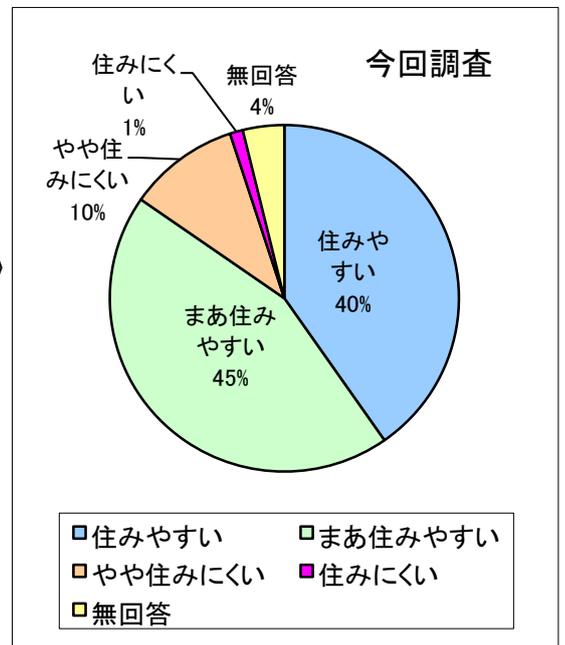
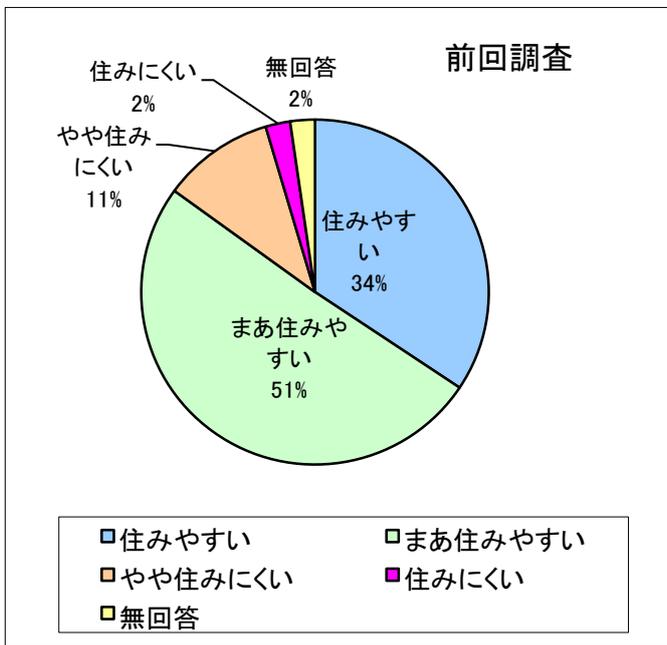
<住みやすさ>

1) 回答者全体

「住みやすい」と感じている市民の回答は、平成16年調査時点で34.4%だったが平成24年度調査で40.3%に上昇した。

前回調査(H16.6)		
住みやすい	135	34.4%
まあ住みやすい	199	50.6%
やや住みにくい	41	10.4%
住みにくい	9	2.3%
無回答	9	2.3%
合計	393	100.0%

今回調査(H24.10)		
住みやすい	168	40.3%
まあ住みやすい	185	44.4%
やや住みにくい	43	10.3%
住みにくい	5	1.2%
無回答	16	3.8%
合計	417	100.0%



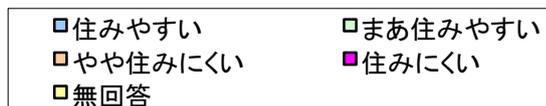
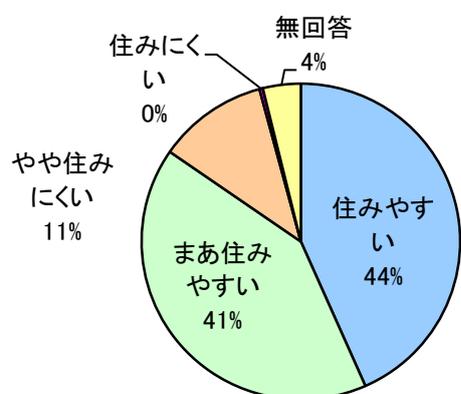
2) 事業の認知度

「住みやすい」と感じている市民の回答は、事業を知っている方が44%で知らない方が35%だった。

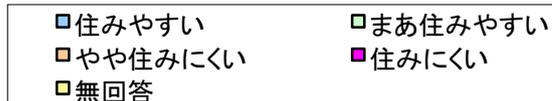
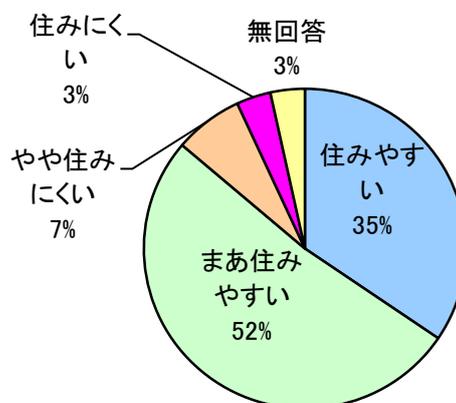
事業の認知度が「住みやすい」に影響したことが伺える。

【都市再生整備計画事業】	住みやすい	まあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答	計	
事業を知っている	124	118	32	1	11	286	
	43.4%	41.3%	11.2%	0.3%	3.8%	100%	
事業を知らない	40	60	8	4	4	116	
	34.5%	51.7%	6.9%	3.4%	3.4%	100%	合計
無回答	4	7	3	0	1	15	417

事業を知っている方々の分類



事業を知らない方々の分類



3) 住みやすいと回答した理由

「住みやすい」と回答した理由で、平成16年度と平成22年度を比較すると「交通の便が良い」が10.3%、「医療施設が身近にある」が8.6%、「買い物など日常生活が便利」が6.9%それぞれ上昇した。

「医療施設が身近にある」は事業外の要因だが、「交通の便が良い」、「買い物などの日常生活が便利」は、事業効果が要因として考えることができる。

	前回調査		今回調査		
	割合	人数	割合	人数	増加率
住民同士の交流が多い	15.3%	51	13.8%	43	-1.5%
自然が多い	26.0%	87	21.9%	68	-4.1%
歴史や伝統文化がある	0.9%	3	1.9%	6	1.0%
地域の行事が盛ん	3.3%	11	6.8%	21	3.5%
買い物など日常生活が便利	79.9%	267	86.8%	270	6.9%
公共施設が整備されている	9.0%	30	9.3%	29	0.3%
交通の便が良い	62.0%	207	72.3%	225	10.3%
バリアフリーが進んでいる	2.7%	9	4.5%	14	1.8%
医療施設が身近にある	33.8%	113	42.4%	132	8.6%
その他	4.5%	15	8.4%	26	3.9%
無回答	0.9%	3	2.3%	7	1.4%
南部地域総数		334		311	